

取組みの主な進捗状況

生活のDX

時間や場所にとらわれず行政手続きができます！



施設予約システム

今年度、約9割の行政手続きを電子化し、県民の皆さんが役所に赴くことなく、オンライン上でいつでもどこでも行政手続きができるようになります。

また、公共施設予約システムを直観的な操作で予約できるよう一新するなど、県民サービスの向上に取り組んでいます。

新しいデジタル技術で地域課題解決を図ります

民間の技術等を用いた実証実験「未来技術活用プロジェクト」が進行中です。

- ①有害サルのAI検知、②CO2センサーによる混雑可視化、③県内観光客の傾向分析、④衛星による農地確認、⑤農作物のシェアオーナー募集、⑥防災無線の音声改善の取組で地域課題解決を図ります。



有害なサルのAI検知イメージ

産業のDX

中小企業の経営者向けにDXセミナーを開催



中小企業の経営者を対象に、出前講座を累次開催しています。持続可能な事業運営を行う上で、県内企業のDXに対する関心は日を追って高まっています。出前講座の他、DX推進にお悩みの企業に対し産業支援センターによるDX専門家派遣なども行っています。是非ご活用ください。

ふくいDX推進宣言企業が拡大しています！

DXを積極的に推進する「ふくいDX推進宣言企業」が拡大中です（現在37社）。独自に生産管理システムを開発し生産性向上を図るだけでなく、そのシステムを外販する企業も現れています。

専門家による伴走支援等を通じ、各業種のモデルとなる企業を創出、県内横展開を進めます。



製造工程を見る化

行政のDX

職員自らシステム構築を進め、業務改善を推進



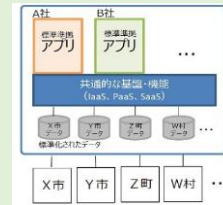
今年度試験導入した業務改善ツール（kintone）を使い、業務記録の管理・共有の効率化や、集計作業の省力化など、26所属80業務で業務改善に取り組みました。

デジタルツールやデータを駆使して課題解決できる職員を増やし、効率的な行政運営や、生み出した時間で現場に向く時間を増やすなど県民の利便性向上に努めます。

デジタル行政実現にむけて市町と連携します！

住民サービスの向上や行政の効率化を図るデジタル基盤を整備するため、全国の地方自治体の基幹業務システムの統一・標準化が進んでいます。

令和7年度までの移行を目指し、国や市町と連携し、取り組みを進めていきます。



最近の県の動き

DX推進プログラムver.3.0を策定しました！

県では、DX推進の方向性や施策を示した「福井県DX推進プログラム」を策定しています。

このたび、令和5年度の当初予算施策等をまとめたver.3.0を策定しました。



- 地域通貨
1コイン＝1円で利用可能
(例) 給付金の受給
- ポイント
1ポイント＝1円で利用可能
(例) 地域農産物産出ポイント取得
- 地域商品券
プレミアム付商品券を購入
1円単位で利用可能

デジタル地域通貨イメージ

ver3.0では、地域公共交通のキャッシュレス化やデジタル地域通貨導入、ドローンによる被災把握など計74事業を掲載しました。今後、行政における日常動作のDX徹底や、アナログ規制の見直し、全県的なDX人材育成などに集中的に取り組んでいきます。

デジタル人材育成方針を策定しました

DXの取組みをさらに拡大するため、職責ごとの役割・求められるスキルを定め、その習得に向けた育成プログラム等を整理した「福井県職員デジタル人材育成方針」を策定しました。

福井県職員デジタル人材育成方針



受講状況を可視化し進捗を評価

この方針にもとづき、今後、市町と共に研修を進め、デジタルを活用した課題設定や解決策提案を自ら行えるDX人材を全県的に育成してまいります。

市町議会議員とDX勉強会を開催しました

市町議会議員が一堂に会した研修会で、県を挙げたDX推進に向けた講演・議論を行いました。

皆さまの生活により身近な市町行政のDXについて、議会と共に、県民目線で推進していきます。



ふくいDXセミナー

- 福井県のDXの取組み
- 基調講演「教育DXで変わる学校！ 県がふるくいの未来！」
- 事例紹介「未来技術活用プロジェクト」実践成果発表

また、3月24日に「ふくいDXセミナー」を開催します。AIで答えが自動的になるなど社会が変化する中、子どもたちの教育の在り方、DXで変わる学校教育について講演します。ぜひご参加下さい。